

---

# 三つ編み

雪やこんこ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

三つ編み

### 【Nコード】

N4135F

### 【作者名】

雪やこんこ

### 【あらすじ】

浮竹隊長は突然友人の京楽隊長に声をかけられた。いつも後ろに一つに束ねられている京楽の髪型が違う。そのうえ、だれかに追いかけられているらしい。過去編の京楽隊長と小さい七緒ちゃんの話です。

「よお。浮竹」

廊下を歩いているときに、突然瞬歩で現れた友人に声をかけられた。

「おお京楽。急ぎの用事か……ってその頭どうした」

いつもは後ろに束ねられている京楽の髪が、今日はきっちり二本のお下げ髪になってたらされている。

「これか」

よく聞いてくれた、と言わんばかりの満面の笑みで、京楽はその端っこを両手に持って振ってみせた。

「若い女の子たちの間で流行ってるんだ。うちの隊で一番若い子が編むの上手だね。名前は七緒ちゃんっていうんだけど。」

「えらいな、ちゃんと名前を覚えてるのは」

「ふふつ。将来が楽しみなかわいこちゃんだからねえ」

「一応言っておく。手は出すな」

「わかつてるよお。いくら僕でもあんな子にはださないって。」

とにかくさ、その子に編んでもらったんだが、出来上がった途端ほどどうとするんだよ。」

そうはさせじと逃げだしたら、もう、どこまでも追いかけてくるんだもん。可愛いったらないね」

京楽はちらりと左に目を走らせるとニヤニヤ笑った。

「おや、もう見つかったちゃった。後ろ左奥の木立の間。かわいいだろ」

たしかに京楽の言った通りの場所に、おかつぱ頭の子がじつとこちらをうかがっている。

「僕が」これで、リサちゃんとおそろいになったから見せてくる『って言ったからだろうね。」

たぶん、リサちゃんに叱られると思ってるんだよ」

「ならつかまってやれよ」

「そうは思っただけど、楽しくってさ……ほら、くるぞっ」

その言葉が終わるか終わらないかの瞬間に突然飛び出してきた。

さすがこの年で護廷13隊に入るだけのことはある見事な瞬歩だったが、京楽の動きに及ばない。

京楽は、その女の子をかわして抱きとめると、高い高いをするように持ち上げた。

「た、隊長っ。やめてくださいっ」

「やーだよ」

「こらこら京楽、よせ」

浮竹の制止も聞かず、京楽はすごい勢いで女の子をくるくると振り回した。

そして、目を回してふらふらになった女の子を壁にもたれるように座らせると、

「この子頼むね」

といいのこし、瞬歩で去っていった。

「君、大丈夫？」

浮竹が腕を掴んで助け起こすと、女の子は眼鏡を直し、きよろきよろとあたりを見回した。

「あの、京楽隊長は？」

「方向的にはあっちかな」

「そうですか」

よろよろと立ち上がった女の子に、浮竹は声をかけた。

「放っておきなよ。じきに戻ってくるさ」

「いえ、一刻も早くいつもの髪型に戻さないとだめです」

「別にリサ君は怒らないと思うよ」

「いいえ。リサさんは関係ありません。ただ、隊長にあんなに似合

わない髪型でうるうるされるのは嫌なんです。

8番隊の恥です。いつものほうがいいんです」

「なるほど」

女の子がまじめに力説する様子が面白くて、浮竹はくすくす笑った。

「じゃあ、いつもの髪型のほうがカッコいいですって言ってやいなよ。そうすればすぐに捕まるよ」

「そうでしょうか」

少し首をかしげたが、女の子は素直にうなづいた。

「忠告ありがとうございます。では失礼します」

女の子は一礼すると、見事な瞬歩で去っていった。

京楽、お前大事にされてるなあ。

浮竹は少しこそばゆいような気持ちで二人の去ったほうを見上げた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4135f/>

---

三つ編み

2010年10月9日14時36分発行